



大阪府立青少年海洋センター

「熱中症対策について」

昨年の夏は気象観測史上初まって以来という高温が続き、海洋センターでも熱中症を未然に防ぐための対策を実施してきました。

当センターにおける具体的な熱中症対策は以下のとおりですが、特に気温が35℃を超える場合は、センタースタッフが団体代表者の方と活動時間の短縮や、活動の中止等について相談させて頂いた上で実施することになっています。

海辺のプログラムをより安全で楽しいものにするために、熱中症予防のための事前準備を十分にさせていただきますよう、お願いします。

- 1、「水分補給」について …屋内外にかかわらず、こまめに水分を補給することが大切です。お茶やスポーツドリンク等、十分な水分をご準備ください。また、大量の発汗後に水だけを補給した場合は、熱けいれんを起こす可能性があるため、適宜、塩分を取ることも大切です。
※毎給食時にお茶の補充ができます。備え付けの急須を使って、水筒に補充ください。
- 2、「冷房」について …センター研修室には風量調節可能な冷房用ファンコイルを設置しています。高温のため屋外で予定していたお弁当を研修室に変更することが可能です。また、宿泊室には冷房用ファンコイルに加えて強制冷房のための送風口があり、夜間、入浴時など室温の高い時は稼働させて室温を下げています。
- 3、「休養室について」 …体調が悪くなった方には事務所の奥に休養室を用意しています。付添いの方と一緒に休憩していただけますので、遠慮なくお申し出ください。アイシング用に氷の提供や、保冷剤の貸出しも可能です。
- 4、「医療機関」について …体調不良や病気、ケガ等発生した時は、最寄の医療機関に連携して対応します。

令和元年7月25日

大阪府立青少年海洋センター

TEL 072(494)1811

FAX 072(494)1735